

五輪豆知識!

7月23日、日本で2回目(夏季)の東京大会が開幕しました。
1964年に続き57年ぶりの開催です。205の国と地域が参加し、33競技・339種目が実施されます。

五輪の歴史

古代オリンピック祭典

紀元前776年に古代ギリシャで開催された「オリンピック祭典競技」が起源といわれています。当時はスポーツの祭典というよりも宗教行事として行われていました。最初に行われていた競技は1スタディオン(約191m)のコースを走る競技でした。その後、ボクシング・レスリング・戦車競走などが行われるようになったようです。

1500年後

近代五輪

1896年オリンピック発祥の地アテネにて第一回の大会が開催されました。競技種目は陸上・体操・レスリング・フェンシング・射撃・自転車・テニス・水泳・ボート(悪天候のため中止)の9種目。日本が初めて参加したのは1912年の第5回ストックホルム大会で、出場選手は短距離走の三島弥彦選手とマラソンの金栗四三選手の2人でした。

東京大会で新しく採用された競技

1964年 第18回東京大会

柔道(男子)・バレーボール

2020年 第32回東京大会

空手・スケートボード
サーフィン・スポーツクライミング
※男子野球・女子ソフトボールは3大会ぶりの実施

過去の珍しい競技



鳩射撃・綱のぼり・**綱引き**
200m障害物水泳・馬幅跳び・馬高跳び など



やってみよう! 1人綱引き

過去の珍しい競技種目「綱引き」をアレンジして気軽に体験してみたいか? 『引かれるのに対抗して踏ん張って引く』という綱引きを片脚でバランスをとりながら行います。

※バランスのとりづらい方はイスに座って行ってみましょう



方法

- ・片脚で立ちもう片方の足にタオルをかける
- ・上体をそらさず、足でタオルを押す
- ・手はしっかりと握って引っ張る

約1500年の間が空きましたが、紀元前776年からの祭典です。歴史を感じながら東京大会を観戦してみたいか?